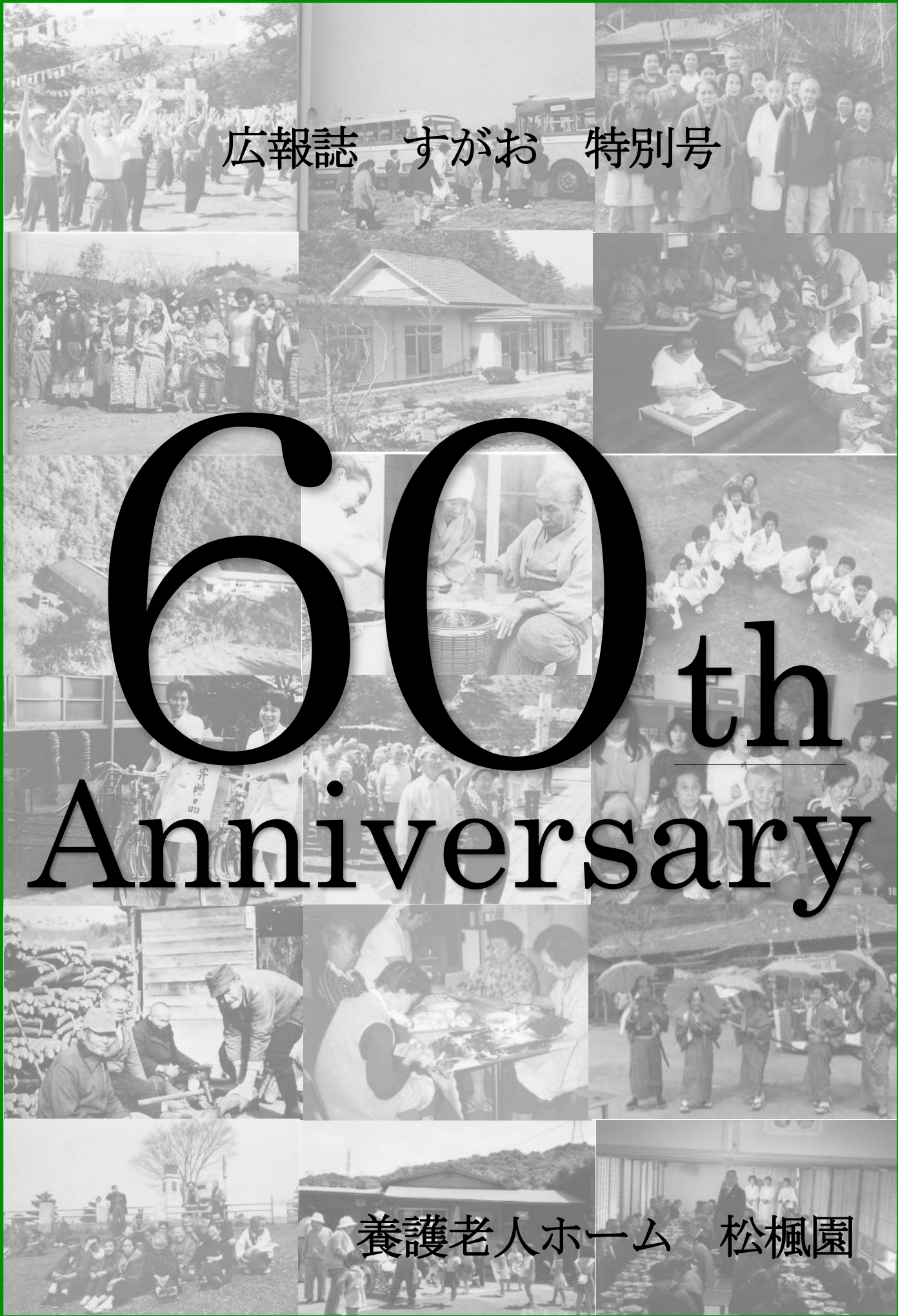


広報誌 すがお 特別号

60th Anniversary

養護老人ホーム 松楓園



皆様に支えられて

60周年

養護老人ホーム 松 楓 園

施設長 馬 場 義 郎

本日は敬老祝賀会おめでとうございます。

ただ今、95歳の節目を迎えられた坂巻サキ様、池田コウ様、徳武久様の3名と、卒寿を迎えられた小林栄吉様、加藤利彦様の2名の方々の表彰をさせて頂きました。

また米寿を迎えられた持田芳枝様、加藤てる子様、加藤ヒサ様の3名の方々も表彰させて頂きました。他に90歳以上の方は5名で、全部で10名の方がいらっしゃいます。

なお、松楓園には51名の女性と49名の男性の方々がいらっしゃいますが、100名の方々の平均年齢は満79, 0歳です。

そして松楓園の最高齢者は女性の96歳の飯塚登志様です。

続いて永年にわたる華道・茶道の講師として利用者の活動を支えて頂いた、加藤先生・田中先生に功労者表彰をさせて頂きました。

茶道・華道クラブは昭和47年に特別養護老人ホーム和敬園が創設されたのを機会に、当初は若い職員の花嫁修業のお稽古事として教えて頂いたのが始まりでしたが、当時の利用者の方々から、私たちも習ってみたいとの沢山の声上がり、初代の柴山先生も皆さんに喜んでいただけるならと始めたのが、今日の華道・茶道クラブのきっかけとなっております。

さて、今年の5月1日に松楓園は創立60周年を、そして通算1, 548名に達する多くの利用者の方々を迎えることが出来ました。

松楓園は、戦後間もない昭和30年に初代理事長の馬場義幸をはじめ、9名の設立発起人の方々の血

のにじむような努力の賜物と、多西村営生の地域の皆様のご理解とご協力を頂き当地に設立いたしました。以来、高齢者支援と言う当会の目的にご賛同頂き、松楓園を地域の一員として温かく迎えて頂いております。

松楓園では、設立当初から利用者の皆様・利用者ご家族の方々・職員が一つの家族として、お互いを尊重しながら共に歩んでまいりました。「困っている方々を支援したい」という気持ちから一生懸命に働いてくださった先輩役職員の方々が当会や当園の基礎を築いて下さったものと感謝しております。

また利用者の皆様も、職員が頑張る姿を見て、たとえそのサービスに不足があったとしても、温かく見守って下さいました。このようなお互いの信頼関係があつてこそ今日の松楓園があるのだと思います。

時代が変わっても、社会福祉に携わる者には「相手を思いやる心、相手の人格を尊重する心」が必要です。これからもこの心を大切にして社会福祉事業を推進していきたいと考えております。

措置施設である新型養護老人ホームは今後も大きな変化が予想されますが、変化に対応できる施設を目指してまいります。

今後とも、西多摩地域の養護老人ホームと言う重要な役割を果たし、地域の人が集う地域福祉の拠点・交流の拠点と成るような事業を展開していく所存です。

最後に成りましたが、関係機関の皆様や地域の皆様のご協力に感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻の程、宜しく申し上げます。

松楓園創立60周年 記念に寄せて

特別養護老人ホーム 和敬園
施設長 杉崎 正子

本年は、社会福祉法人松楓会設立六十周年及び養護老人ホーム松楓園創立六十周年を迎えられましたこと、誠に喜ばしく心よりお祝い申し上げます。

さて、社会福祉法人松楓会は、昭和30年4月に設立されました。ここに法人設立の趣意書を見ますと「終戦後の社会、経済の思想情勢の激変により孤独と生活苦に喘ぎあるいは、病にさいなやまされ、暖かい療養を得ることが出来ない高齢者が急増する中この高齢者の生涯が少しでも明るく幸福であるように云々」と言う趣旨であります。その趣旨に添い、同年5月養老施設松楓園が創設されました。当時は、生活保護法による委託保護施設としてのスタートでした。

その後、戦後の家族制度の崩壊により生活の場を失った高齢者の増大する中、松楓園の果たす役割は大きく建物の増築にせまられ、関係官庁を始め多くの助成団体に対し、建築資金補助や借入金確保に奔走した創設者馬場義幸理事長の労苦は大変であったと思います。中でも一番の悩みは借入金返済であり、寄付金集めに奔走していた姿を今も思い出します。一方職員や健康なご利用者は、法人敷地内で養豚・養鶏・椎茸栽培等を行いその収益を返済に充てたりと、兎に角、一生懸命取り組みました。

ご利用者はと言えば、タバコすら買う金もないためナフタリンの内職などにより、何とかお小遣いを稼ぎ生活をいたしておりましたが、昭和34年国民年金制度が発足した事によりご利用者の将来の生活の基本が出来たと喜んだものでした。

昭和38年7月関係者の、長年の念願であった「老人福祉法」が制定され、老人福祉の理念が明確になると同時に「老人福祉施設の多様化」が図られるようになりました。

保護施設松楓園は、養護老人ホーム松楓園となり老人福祉法により位置づけられました。

日本の高度成長期を経て国民の生活レベルも向上となった昭和58年養護老人ホーム松楓園は全面改築の運びとなり、同時に特別養護老人ホームコスモホームを新設することになりました。松楓園の居室は個室、準個室化を図り個人のプライバシーを重視し

たホテルのような建物として生まれ変わり、又当時養護・特養を一体化した建物としたことは、画期的であると多くの関係者より評価をいただきました。

昭和60年代に入り松楓園ご利用者の生活は一新したように感じたものです。それはご利用者各人が、豊富な知識・趣味をもちその活動も広範囲にわたり、実に活発に行われていました。地域との交流やご利用者・職員が一体となり、ボランティア活動等にも積極的に参加し、地域からも喜ばれ評価されたことは、大変うれしく感動いたしました。

ご利用者の生き生きとした姿に接し、老人福祉の基本理念である「老人は多年にわたり社会の進展に寄与してきた者として、かつ豊富な知識と経験を有する者として敬愛されると共に、生きがいを持てる安らかな生活を保護されるものとする」まさにそのとおりであると強く感じたものです。

平成18年4月措置制度改正により、新型養護老人ホーム、個別契約型の施設として運営を開始しました。処遇方針として、そのご利用者の心身の状況等に応じて、社会復帰の促進及び自立の為に必要な指導訓練の援助を行わなければならないとなりました。

しかし、この方針は高齢者にとって大変厳しいものであり、果たしてこのようにお元気な方々がおられるか、現在なお大変疑問を感じております。

最後に、養護老人ホームの変遷について考えてみると、養護老人ホームは時代の変化と共に変わる制度との狭間の中で翻弄され続けてきたように思います。その時々に変え内容を変え、社会の動きに適合させられて歩んできたように思うのです。しかしにもかかわらず、施設長始め職員各人においては、時代や制度の変化を前向きにとらえ、常にご利用者本位の心のこもったサービスの質を追求し続けていることに、心から大きな拍手を送り感謝の意を表したいと思えます。

そして、今後の社会構造の変化によりさらに、大きな制度改革が予測されますが、たとえどのような変革が来ようとも、松楓園60年の歴史に誇りと、勇気をもって挑んで欲しいと願っている者であります。

創立60周年 記念に寄せて

特別養護老人ホーム コスモホーム
施設長 馬場 直幸

養護老人ホーム松楓園が満60周年迎えられた事、誠にありがとうございます。

松楓園が昭和30年に東京都で12番目の「養老院」として「国」・「都」の期待を集め誕生してから60年。途中昭和38年には老人福祉法による「養護老人ホーム」(定員160名)として生まれ変わり、以来数千名を超える多くの皆様方にご利用頂き、今日に至っていることは併設施設であるコスモホームとしても誇りに思うところであります。その間社会のニーズの多種多様化に対応し翻弄されることなく福祉の道一筋に高齢者の皆様に温かいサービスを提供されてこられたことは、松楓園の施設長をはじめとする職員の皆さんの一方ならぬ努力の賜物と信じるものであります。

さて、一口に「60年」とは申しますが、人の一生に例えるならば、還暦を迎えたこととなります。松楓園がオギャーと産声を上げたときは戦後10年しか経っておらず、世の中は混沌としておりました。

松楓園としては、まず「衣・食・住」の提供と言うサービスが優先されました。内職をし、鶏を飼い、椎茸を作り、豚を育てて食の充実を図っていた姿はいまだに目に焼き付いております。

その後松楓園も成長するにつれ、「生きがい対策」に力を注いでこられました。老人大学・社会見学・ボランティア活動など、自分たちがサービスを受けるだけでなく、出来る範囲で社会に貢献することで地域社会の一員としての責務を果たすことになりました。

法人としては、松楓園が17歳の時に、「特別養護老人ホーム和敬園」、28歳の時には「特別

養護老人ホームコスモホーム」が誕生いたしました。

高度経済成長と言う世の波にも支えられ、福祉の充実が図られようとして参りました。愈々これからと言うときになり、バブルがはじけ、医療・年金・福祉の分野にも数多くの問題が次々と発生してまいりました。

「和敬園」「コスモホーム」は介護保険法と言う新たな法の枠組みに組み込まれ、「契約施設」としての道を歩むことになりました。養護老人ホーム松楓園はひとり老人福祉法による「措置施設」として、今までも、そしてこれからも高齢者を支える最後の砦としてあり続けるものと思います。そしてこのことは、ともすればシルバー産業と言う新しく押し寄せる利益重視の波の中で、頑なに守っていかなければならないことなのかもしれません。

戦後70年、少子高齢化のますます進む中、そこに働く若者は減少し、逆に高齢者は急増し然も独居・虚弱化するなかで、それでも尚シルバーを超えたゴールドの人生を目指して、ご利用者・ご家族・職員の三者の協働による輝かしい一歩を踏み出していきたいと思います。

社会福祉法人松楓会

松楓園の母体となる社会福祉法人松楓会
につきましてご紹介させていただきます。

基本理念

本法人は常にお客様本位の誠実でかつ高品質なサービスの提供に心がけるとともに社会福祉法人の使命に基づき、地位社会に貢献する。

経営方針

- 1、事業の透明性、適正性の確保と信頼される事業の遂行に努める。
- 2、事業の安定的、健全な経営基盤の強化及び経営の透明性の確保に努める。
- 3、地域の福祉ニーズに対し施設の有する福祉サービスを積極的に提供し社会的使命の遂行に努める。
- 4、組織上の役割、権限、責任を明確にし、円滑な業務遂行に努める。

特別養護老人ホーム 和敬園



同じ敷地内にある和敬園には、四季折々の花が咲き誇り、松楓園の利用者の方々も散歩をしながら景色を楽しんでいます。

特別養護老人ホーム コスモホーム



同じ建物内にあるコスモホームとは、利用者間の交流も活発で、共用スペースの喫茶店には明るい笑顔が溢れています。

松楓会のマーク

中央のSは松楓会の頭文字、内側の輪は利用者・職員を表わし、外側の輪は地域社会を表わしています。周囲は松の葉をあしらひ、宇宙への発展を表現しています。全体としては日が昇る姿を象徴したものです。



松楓会の歌

- 1、朝日輝くたまの里 松の緑りに囲まれた
その名もゆかしき 松楓会
- 2、こゝに集える人々は 過し幾とせ忘れ去り
明るい余生を楽しまん
明るい余生を楽しまん
- 3、共に手を取り助けあい 互にいたわり励まして
愛の御業を行わん
愛の御業を行わん (炭坑節替え歌)

社会福祉法人 松楓会
養護老人ホーム 松楓園



施設長 馬場 義郎
副施設長 内田 京子

生活相談係長 内倉 高
生活支援係長 徳川康恵
〃 副主任 有國佳奈

看護師 守屋 愛子
松谷 幸子

栄養士 香月 梓

生活相談員 青柳冨矢加

総務係 毛利あけみ
北田依美子
小川 好夫

《 基本理念 》

- 1、利用者個々の人格・意思を尊重し、利用者の心身の状況とライフスタイルに合わせた支援サービスを提供します。
- 2、安全で快適な生活環境の整備に努め、透明性や牽制機能を備えたリスク管理により健全な施設経営に努めます。
- 3、職員の知識・技術の向上を図り、利用者により質の高いサービスを目指します。

《 業務に対する取り組む姿勢 》

- 1、基本行動を基に自己研鑽、常に工夫の知識を持ちながら業務に取り組み、利用者サービス計画の遂行に努める。
- 2、認知症・精神疾患・知的障害また社会適応困難者に対しての専門な知識・技術を習得し、より質の高いサービス提供に努める。

非常勤医師

内科 松尾 龍一
精神科 望月 保則

生活支援員

高橋 知佳
名倉 郁美
松浦龍之介
浅見 芳弘
原田絵理香
神崎千枝子
三浦 真弓

松楓園 職員紹介



馬場 施設長



松尾 先生



内田 副施設長



望月 先生



3階担当職員



職員一同、新たに歩み続けていきます



事務所職員



看護師



1階担当職員



2階担当職員

平成27年



- 昭和48年 オイルショックで物価急上昇
- 昭和51年7月 モントリオールオリンピック
およげ！たいやきくんが大ヒット
- 昭和58年4月 東京ディズニーランド開園
- 昭和59年7月 ロサンゼルスオリンピック開催
- 昭和60年3月 つくば科学万博
- 昭和61年2月 ハレー彗星接近
- 昭和62年4月 国鉄分割民営化
- 昭和63年3月 東京ドーム完成
- 平成元年1月 昭和天皇崩御 昭和から平成に
消費税3パーセント施行
- 平成2年1月 ちびまる子ちゃん放送開始
- 平成7年9月 秋川市と五日市町が合併して
あきる野市が誕生
- 平成11年 だんご3兄弟が大ヒット
- 平成12年7月 2000円札発行開始
- 平成13年3月 ユニバーサル・スタジオ・ジャパン
開園
- 平成23年3月 東日本大震災
- 平成26年2月 関東地方記録的豪雪
- 平成27年3月 北陸新幹線開業



現在 平成元年 昭和60年 昭和50年

- 昭和48年2月 社会福祉法人「松楓園」を社会
福祉法人「松楓会」に名称変更
- 昭和58年4月 全面改築する。定員を変更、個
室化・個室化を図った(建物
面積2,751,01㎡・定員10
0名)
- 昭和63年3月 都市型ケア付特別養護老人ホ
ームコスモホーム(3,140,8
8㎡)定員(100名)を開設。及
び、秋川市・福生市・羽村市ケ
アセンター事業を開始し、松楓
園・コスモホーム建物の一体化を
図った。総面積(5,891,89
㎡)
- 平成11年3月 国・都の補助金により特別養護
老人ホーム和敬園の大規模修
繕工事を実施
- 平成12年3月 国・都の補助金により特別養護
老人ホーム和敬園及び、あきる
野市高齢者在宅介護支援セン
ター和敬園完成(総面積443
5,56㎡)定員100名となる
- 平成13年3月 国・都の補助金により大規模修
繕工事を実施
- 平成18年4月 国・都の補助金により特別養護
老人ホームコスモホームの中規
模修繕工事を実施
- 平成27年5月 措置制度改正により新型養護
老人ホーム個別契約型の運営
開始
松楓園創立60周年



昭和30年

60th

地域と共に

松楓園60年のあゆみ

昭和30年6月 一円・五十円アルミ硬貨発行開始

昭和32年3月 コカコーラ販売開始
ホッピングが大流行

昭和33年10月 長嶋茂雄が新人賞・王貞治が巨人に入団

昭和33年12月 東京タワー完成

昭和34年4月 皇太子ご成婚

昭和35年10月 カラーテレビ放送開始

昭和39年10月 東京オリンピック開催
東海道新幹線開通

昭和40年 いざなぎ景気

昭和41年6月 ビートルズ来日
敬老の日・体育の日制定

昭和43年12月 3億円強奪事件発生

昭和45年3月 日本万国博覧会(大阪)

昭和47年2月 札幌冬季オリンピック開催



昭和40年

昭和30年

昭和30年4月

社会福祉法人松楓園の認可を受ける。松楓園は保護施設として認可を受ける

昭和30年5月

委託保護施設として事業を開始(定員40名)

昭和32年11月

お年玉つき年賀ハガキ寄付金により収容棟(168,59㎡)を増設、定員(95名)に変更

昭和35年12月

お年玉つき年賀ハガキ寄付金により集会所兼食堂(212,99㎡)を増設、定員(99名)に変更

昭和38年7月

老人福祉法の制定により保護施設から養護老人ホーム松楓園となる。

昭和40年9月

共同募金配分金により浴場(75,72㎡)を増設

昭和41年4月

国・都の補助金により収容棟(285,89㎡)を増設、定員(121名)に変更する。職員寮完成(184,73㎡)

昭和47年4月

老人福祉法による特別養護老人ホーム和敬園(1,108,56㎡)定員(50名)を開設



出逢い・巡り逢い エピソード

60周年を迎え、利用者の方と松楓園の不思議な出逢い・巡り逢いエピソードをご紹介します。
宮本謙三様からは、松楓会ホールに飾られている横約8メートルの絵画にちなんだお話を伺いました。
今から32年前(昭和58年)松楓園の全面改築とコスモホームの開設を記念して丹祥社五十嵐先生による大絵画「モーゼの十戒より脱エジプト」を寄贈していただきました。

三十二年の時を経て

宮本謙三様



私は福生中学で美術と国語を教えていたのですが、十五歳くらい年上の美術の先生で真面目な五十嵐先生と出会いました。この絵は私が当時三十五歳頃に五十嵐先生に「お前も手伝ってくれないか」と誘われて八名で描いたのです。岩具絵で初めは小さい紙に下書きの絵を描き、その上から粘土で大きいヘラや筆を使ってドンドン！ゴンゴン！と叩きながら描いたのです。入園する前に松楓園の見学に来た時、この絵を見てビックリしました。三十二年ぶりの再会に、感動と不思議な縁を感じました。



若かりし日の思い出

小林光男様



私は植木を伐採して庭師に売る仕事をしていたのですが、六十年前の当時十五、十六歳の頃だったと思うのですが、ここに植木を取りに通って来ていたので。今思えば松楓園だったのですが、当時は何であんな所に建物があるのだろうか、とても不思議だったのです。ただみんな和気あいあい楽しんでそうだったので覚えています。私が手を振ったら、みんなが手を振りかえしてくれた事を今でもはつきり覚えています。
当時の園長はみんなの髪

をバリカンで刈っていたのですが、私にも園長が髪を切ってあげるからおいでよと手招きしてくれたのです。でも、慣れてなさそうな手つきでトラ刈りにされたのも嫌だからやりわり断つたのも思い出されます。園長はみんなに好きなようにさせていて、蒔き割りなども全部自分たちで行っていると教えてくれました。

六十年経って私も老人ホームに入る様になって、役所の人に松楓園の名前を聞いた時にどこかで聞いた事があると思いつつ見学に来たのですが、景色を見てすべてを思い出しました。

若い頃の思い出の地で生活することを望み、松楓園での暮らしを始めたのです。



平成27年度 敬老祝賀会



平成27年9月11日、松楓会ホールにて「敬老祝賀会」を開催致しました。今年度は創立60周年のお祝いも兼ね、多くの来賓者・ご家族・三味線奏者・民謡歌手の方々を迎え盛大に実施致しました。老人福祉施設である松楓園にとって、利用者の方々の長寿と健康をお祝いする「敬老祝賀会」は最も大切な行事であり、職員一同心を込めてお祝いをさせて頂きました。



高齢者表彰では8名の方が米寿・卒寿・95歳の節目の表彰状と記念品等を授与されました。功労者表彰では永年講師として華道・茶道クラブを指導して頂いております加藤知子様・田中百合子様へ感謝状を贈呈させて頂きました。



祝賀会では津軽三味線奏者の廣原武美氏（2014年には市川海老蔵氏との共演など国内外での活動をされています）の演奏や民謡歌手の柿崎竹美様の民謡・手踊り、お祝いの食事を楽しみながら歓談され、出席者全員で長寿をお祝いしました。



華道・書道・手工芸など敬老週間には作品展示や野点でのお点前披露など日頃の利用者の方々の活動成果の発表の場ともなっています。

訪問美容で毎週来園されている「訪問美容のりこ」様のマニキュアボランティアは利用者の方々の楽しみになっています。

昔と今

利用者の方々は外出をされたり趣味活動、施設での行事やクラブ活動など、生活に潤いと生き甲斐を見つけて過ごされています。その中で、昔も今も変わらずに楽しみのひとつとなっているのが、「食事」と「旅行」ではないでしょうか。



～ 昔 ～

現在、松楓園では一汁三菜の食事と共に、パンや麺、各行事食など様々な食事を提供していますが、開設当時は一汁一菜、麦御飯(麦8:米2)もしくは雑炊、すいとんと味噌汁の献立だったそうです。

利用者の皆さんも、椎茸を始めとする野菜の栽培や養豚・養鶏を職員と共にやり、食事内容の充実化を図り、麦ごはんに至っては、その栄養の豊富さから平成に入ったのちも暫く続いて居たそうです。

調理機材や食器も、薪と釜戸、アルマイト食器から、ガスとメラミン食器や滑りにくい箸などに変わっています。



昭和30年頃のおひつと食器です。



昭和30年頃の食堂での食事の様子です。



火鉢を利用して利用者の方々は暖をとり、調理をされたりしていました。



松楓園開設当時は自給自足の食生活でした。写真はシイタケ栽培の様子です。



～ 今 ～



食事内容も、食事アンケートなどで利用者の皆さんの意見を取り入れながら変化を辿って来ましたが、巻き・握り寿司に関しては昔から変わらぬ一番人気の献立となります。

現代において、しっかり噛んで食事する事は、口腔機能の維持向上はもとより脳の活性化、認知症予防等にも繋がると言われている中、現在の松楓園では利用者皆さんの咀嚼機能維持向上の取り組みの一環として”噛み噛み食”を提供しています。



利用者の方々が楽しみにしている食事は、栄養士がアンケートや懇談会等で意見を伺いながら、日々改良しながら提供しております。通常食の他にも行事などで提供される食事も好評を頂いております。



日常の食事風景です。食事をする空間や提供方法などにも検討を重ね、快適な環境で食事を楽しんでいただけるように工夫を続けております。



利用者旅行



～ 昔 ～

昭和30年4月に松楓園が保護施設として認可を受け、この度60周年を迎えましたが、利用者旅行も昭和34年10月に初めてのバス旅行を行い、今年で56年目を迎えます。写真では着物を着ている方も多く、歴史を感じますが、今も昔も変わらないのは利用者の方々の笑顔ではないでしょうか。



昭和37年 草津温泉



昭和34年10月11日 初めてのバス旅行

モノクロの写真に時代を感じさせますが、参加者の笑顔は昔も今も昔も変わりなく、皆さんの旅行を心待ちにしていた様子が伝わってきます。



昭和45年 伊東熱川



昭和52年 伊豆方面
お弁当とポットを持参したのでしょうか



昭和55年 伊豆半島

洋服で旅行に参加されるようになりました。

生きること一生懸命であった時代、利用者の方々にとって、旅行はどれほど楽しみであったのでしょうか。
今では会うことも叶わない方々ですが、是非お会いして、当時の様子や思い出話など聞かせていただけたらと思います。編集作業でした。



利用者旅行



～ 今 ～

昭和34年の初めてのバス旅行から途絶えることなく現在に続く利用者旅行ですが、
今でも皆さんが一番楽しみにしている行事のひとつとなっています。



《華道クラブ》



自分は今、毎週華道を学び心安らかな時を過ごせる事に、心から先生方に感謝しております。今、老人大学等でも学んでいる方が多いそうです。また『お國の為に華は散れ』この句が頭をよぎる事が有ります。平和の大切さを感じます。

宍戸 巖様

なかなか自分では全部生ける事は出来ませんが、先生に教えて頂きながら楽しく参加しています。(華道を)始めて1年経ちませんが、今では生活のハリになっています。これからも頑張っって続けたいと思います。

小山貞子様



クラブ活動への思い

《茶道クラブ》



一人だと嫌になるけど、皆と一緒に協力してやる事が楽しくて辛いことも忘れられます。また生き甲斐になっていて、生活のハリも出てきて、とても緊張したけど、また来年もやりたいです。

小澤智子様

(今年で4回目の参加になりますが) 今回の野点が一番良く出来たと思います。これからもお点前もっと上手になりたいです。有難うございました。

大森正子様



始めて1年程になりますが、お手本を見ながら楷書から行書まで、お手本通りにはなかなか行かず難しいですが、色々な書をしたためて行くのが楽しいです。 山村貴美恵様

子供の頃から、松楓園に入所するまで空白期間が有り、クラブに入った当初は“一”を書くだけでも手が震えてしまいました。今年60年目の節目の年に、ペン字が始まりましたが、胡麻化して書けない難しさが有り、また新たな不安と楽しみを感じながら挑戦をしています。活動中の落ち着いた雰囲気は自分自身と向き合える貴重な時間にもなっており、これからも元気で続けて行きたいと思います 永田志げ子様

利用者の皆様からの想い

利用者の皆様から創立60周年と敬老の日を迎えた想いを綴って頂きました。

『60周年を迎えて』
創立60周年、おめでとうございます。
この時皆様と一緒に祝い出来、
私は幸せと思います。

私の人生変わりました。
入園にしまして12年楽しい事もいっぱい職員の方にお世話になったり友達も出来たり旅行にも何回も連れて行って頂き、判らない私に係長に見て頂きネックレスを買う事が出来たり楽しい思い出がいっぱいです。これから先、園長始め職員の皆様宜しく願い申します。

坂巻サキ様

『敬老に寄せて』
「男郎花(おとこへし)
われも咲きたし 同じ日に
敬老祝賀 女郎花(おみなえし)見る」
杉山都茂子様

『60周年に寄せて』
「わが園は 春はさくらに 秋もみじ」
「松の青 風に立ちたる 園やあり」
→ 松楓園を一文字ずつもじり
詠みました
「さち多く 幸せ多し
我が住居(すまい)」
小林栄吉様

《脳の健康教室》



ボランティアの皆様
に
支えられて

公文の脳の健康教室を松楓園利用者の介護予防対策として取り入れ平成20年1月より始めました。現在では、地域のボランティアさんにもご協力頂き、第9期まで修了致しました。利用者の皆さんそれぞれに合った読み書き・計算・数字並べなどを行いながら、引き続き介護予防に取り組んで参ります。

《体操教室》

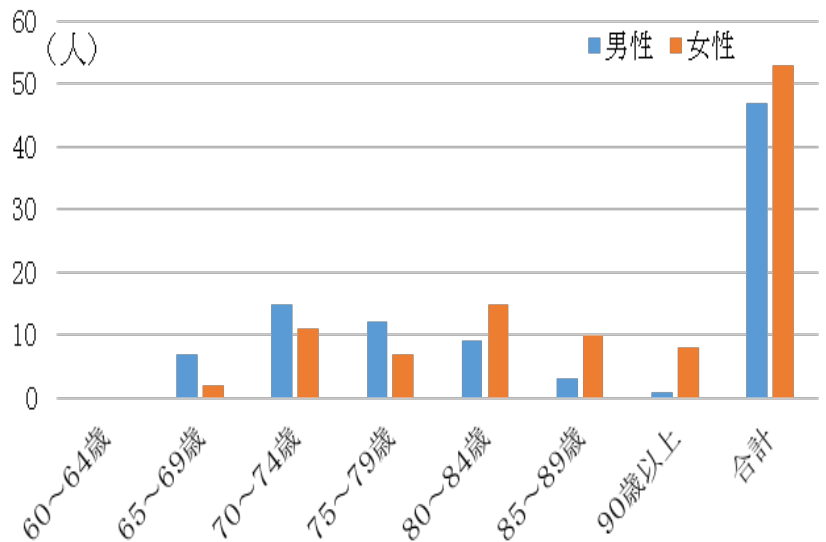
講師の先生方と共に...



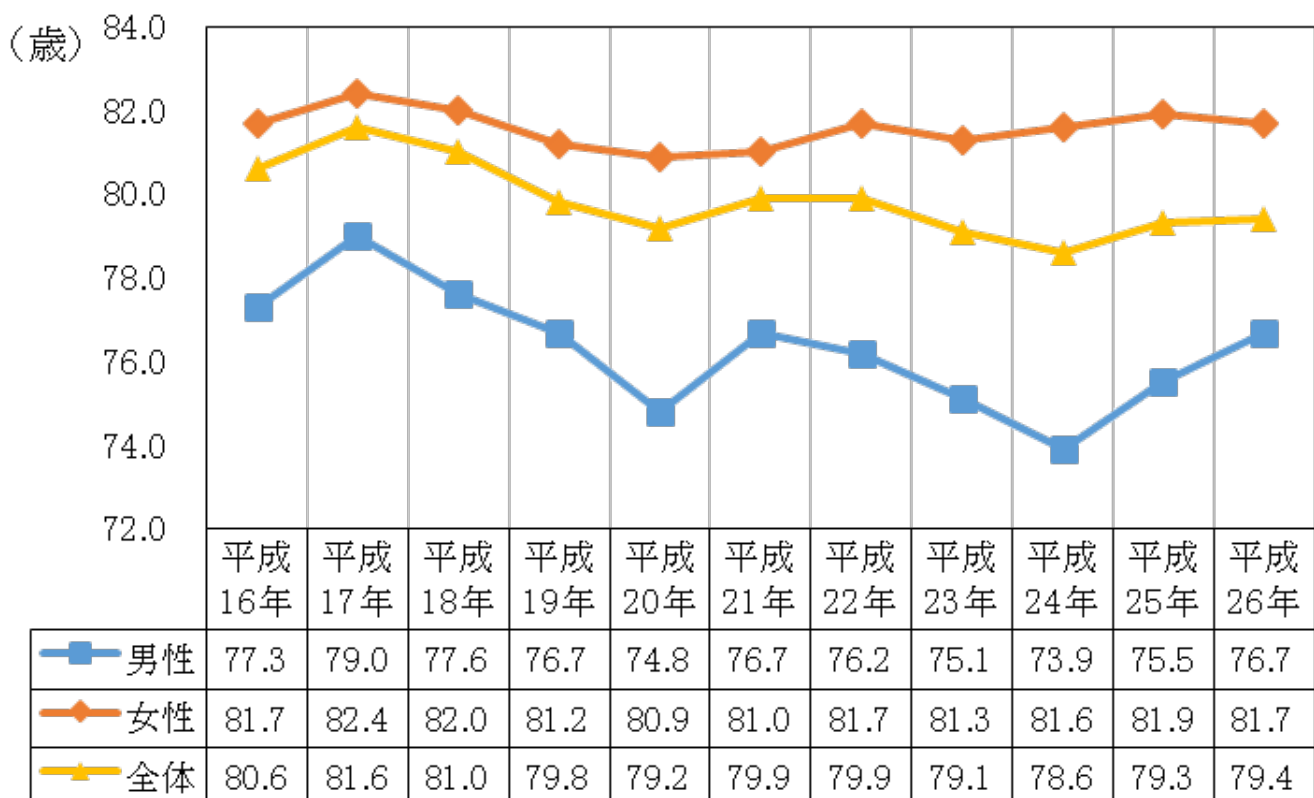
平成7年4月に利用者の皆さんの生活の中の生き甲斐として始まった体操教室ですが、開始当初は10名程度の参加者でした。時を経て時代の流れと利用者の身体状況の変化により、講師の石井先生・大坪先生ご協力のもと、その形は介護予防対策言う取り組みへと変化し、利用者の皆さんの意識向上と共に参加者も増え、現在では毎回60～70名の方々が参加され、心身の健康維持向上へと新たな生き甲斐になっております。

◆ 年齢別在園者数 (平成27年4月1日現在) 単位=人

年齢階層	男性	女性	合計
60～64歳	0	0	0
65～69歳	7	2	9
70～74歳	15	11	26
75～79歳	12	7	19
80～84歳	9	15	24
85～89歳	3	10	13
90歳以上	1	8	9
合計	47	53	100



◆ 平均年齢の推移 (平成16年度～平成26年度) 単位=歳





年齢別在園者数の推移（平成16年度～26年度）

単位＝人

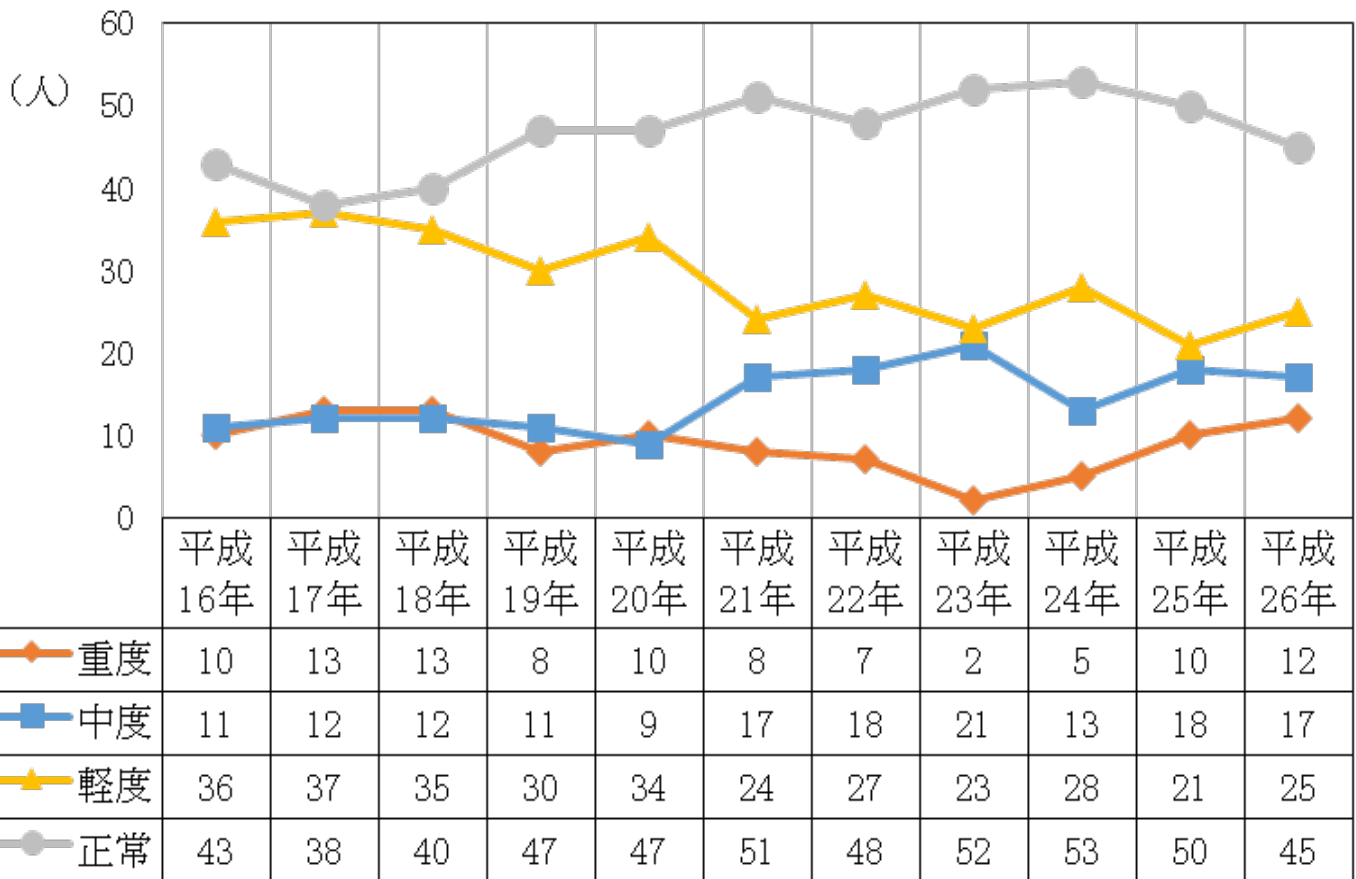
年齢階層		平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年		
60～64歳	男性	1	2	3	3	4		
	女性	1	0	1	0	0		
65～69歳	男性	2	1	1	5	6		
	女性	1	3	5	8	10		
70～74歳	男性	5	3	5	7	7		
	女性	11	9	8	7	3		
75～79歳	男性	6	5	4	5	4		
	女性	13	16	17	16	19		
80～84歳	男性	6	8	5	3	2		
	女性	20	14	11	11	12		
85～89歳	男性	2	1	3	7	4		
	女性	20	25	28	21	19		
90歳以上	男性	1	3	2	1	1		
	女性	10	28	7	6	7		
年齢階層		平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	
60～64歳	男性	3	3	2	1	0	0	
	女性	1	1	0	0	0	0	
65～69歳	男性	5	5	7	9	7	6	
	女性	8	7	7	5	2	2	
70～74歳	男性	4	8	11	13	16	15	
	女性	7	6	9	12	12	11	
75～79歳	男性	5	7	8	11	9	12	
	女性	19	11	8	6	7	7	
80～84歳	男性	2	3	2	3	7	9	
	女性	13	19	19	16	16	15	
85～89歳	男性	5	4	3	2	2	3	
	女性	15	8	10	10	10	10	
90歳以上	男性	2	3	2	0	0	1	
	女性	10	15	10	11	11	8	



在園者主たる疾患の推移（平成16年度～平成26年度） 単位＝人

	平成16年		平成17年		平成18年		平成19年		平成20年			
疾患名	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性		
高血圧症	12	46	11	46	11	50	15	40	15	43		
心疾患	8	22	7	19	8	17	12	27	9	27		
脳血管疾患	6	15	8	13	7	10	11	8	9	10		
関節疾患	3	48	3	46	4	36	4	23	0	18		
高脂血症	2	17	3	16	3	17	7	10	6	10		
陳旧性結核	5	7	3	6	3	5	3	4	1	1		
白内障	4	27	5	28	5	25	10	31	6	31		
便秘	8	24	9	39	10	41	8	35	4	27		
精神疾患	5	25	4	21	6	29	9	29	8	28		
認知症	8	38	5	20	9	48	17	36	17	32		
糖尿病	5	12	3	12	6	15	8	12	4	14		
がん									2	5		
在園者数	23	76	22	76	23	77	31	69	28	70		
	平成21年		平成22年		平成23年		平成24年		平成25年		平成26年	
疾患名	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
高血圧症	16	49	11	47	22	39	19	39	23	39	34	35
心疾患	7	30	9	26	5	17	3	17	6	19	8	14
脳血管疾患	8	15	7	10	9	10	6	7	9	8	11	5
関節疾患	3	17	3	6	8	12	7	17	9	17	13	16
高脂血症	3	13	6	15	5	15	5	15	8	15	10	12
陳旧性結核	6	11	1	2	2	2	2	5	6	9	5	5
白内障	5	31	3	24	2	16	2	8	3	9	3	7
便秘	4	27	6	20	7	19	8	17	14	18	15	15
精神疾患	8	28	4	25	6	21	6	22	5	19	9	22
認知症	14	35	3	10	5	4	6	7	10	11	14	10
糖尿病	6	13	7	11	10	11	10	10	11	6	15	8
がん	3	4	2	7	2	5	1	3	4	4	8	2
在園者数	26	73	33	67	35	63	39	60	41	58	46	53

◆ 認知症の推移 (平成16年度～平成26年度) 単位=人



◆ 介護度別の推移 (平成18年度～平成26年度) 単位=人

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	
要支援Ⅰ・Ⅱ	5	5	6	8	
要介護Ⅰ	7	12	9	12	
要介護Ⅱ	2	2	7	6	
要介護Ⅲ	1	1	1	1	
要介護Ⅳ	0	1	0	1	
要介護Ⅴ	1	0	1	1	
合計	16	21	24	29	
	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
要支援Ⅰ・Ⅱ	2	6	3	3	4
要介護Ⅰ	10	11	8	12	9
要介護Ⅱ	9	6	5	3	8
要介護Ⅲ	1	0	1	2	6
要介護Ⅳ	0	0	1	1	2
要介護Ⅴ	1	0	1	0	0
合計	23	23	19	21	29

松楓園 日常の様子





発行者 社会福祉法人松楓会
 養護老人ホーム松楓園

住所 あきる野市菅生1159番地

電話 042-558-7010(代)

<http://www.shohuen.jp>

《 編集後記 》

今号の「広報誌すがお」では創立60周年特別号として〈今と昔〉をテーマに発行いたしました。発行作業を通じて60年の歴史を振り返り、改めて昔があるから今があるということの大切さに触れ、これからも今を大切に次代に繋げられるように努力を続けていきたいと思いました。

平成27年10月 広報誌編集委員会